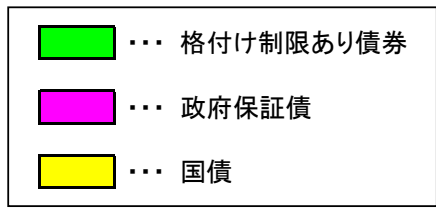
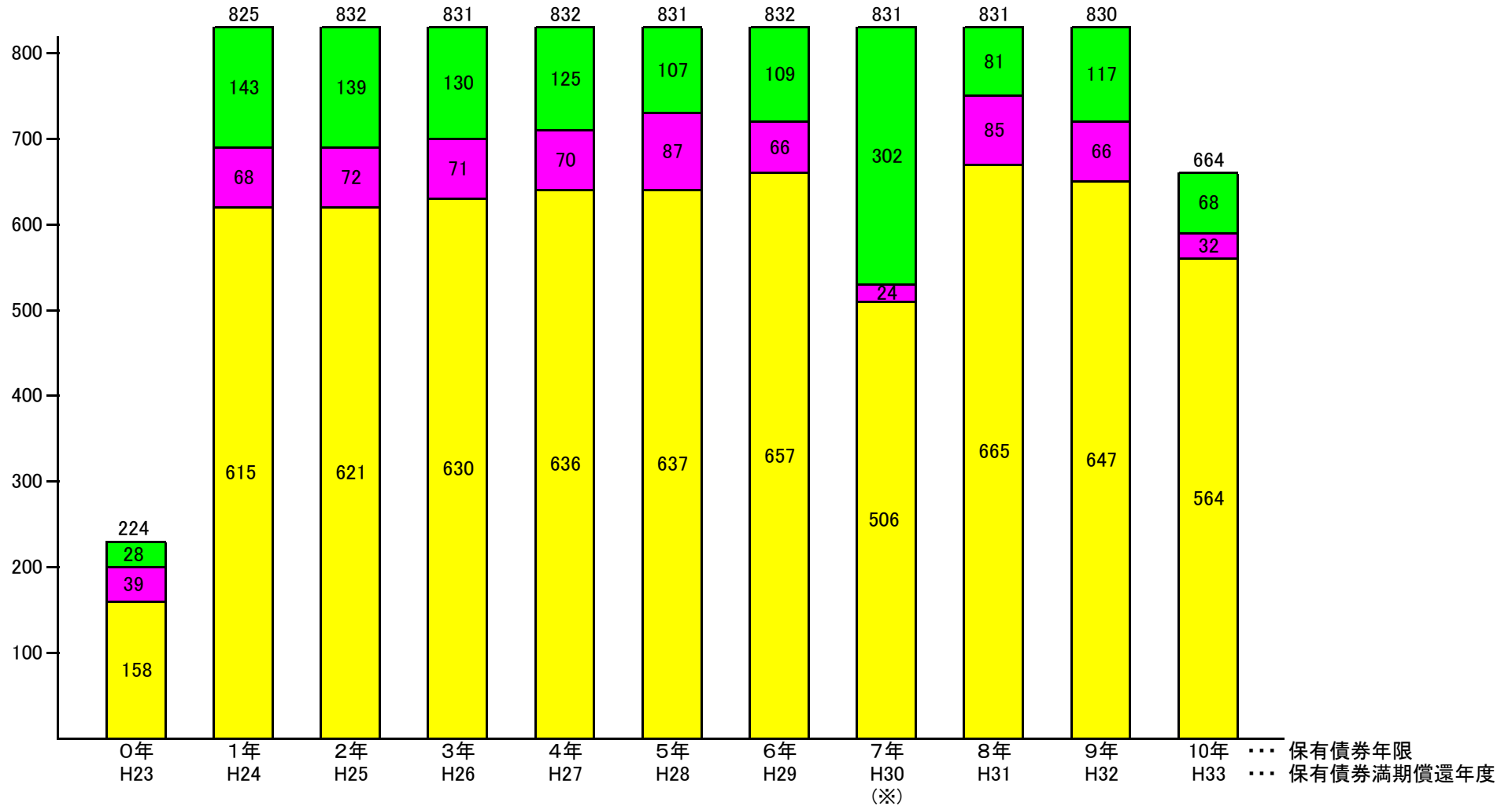


平成23年度第3四半期末における年限別種別構成実績

保有債券簿価残高
(単位:億円)



(※) 満期償還年度が平成30年度である保有債券(年限7年)において「格付け制限あり債券」の構成比が高いことについて
 ○満期償還年度が平成30年度である債券(年限7年)は、主に平成20年度に取得したものの。
 ○平成20年度までは、「運用の基本方針」の規定により、保有債券全体の債券種別構成比を、市場における債券種別構成比に準じたものとするを目標としていた(ストック目標)。
 ○平成20年度においては、「格付け制限あり債券」である「社債・金融債」の目標構成比が上昇したことから、この目標を達成するため、「社債・金融債」を多く取得した。
 ○なお、市場における債券種別構成の急変動によりストック目標の達成が困難となる可能性があるため、「運用の基本方針」の規定変更により、平成21年度からは当該事業年度における新規取得債券(主に年限10年)の債券種別構成を、市場における年限10年の債券種別構成に準じたものとするを目標とした(フロー目標)。

(注) 億円未満を四捨五入して表示しているため、合計額に差異が生じることがある。